



## 落 葉

昨夜の氷雨を吸った落葉が一面に横たわっている。心にひんやりと浸み入る点景である。

私もついに、去りゆくものの時の流れが、想念でなく実感として、近しく感じられる年齢に達したのか。雲間を切れる陽光も、心を鼓舞することなく、私の感性を是認しているようである。

## 11月のおもな行事

- 5～6日 産業連関表事務打合会(群馬県)  
工業統計調査実務担当者会議(栃木県)
- 10～11日 家計調査及貯蓄動向調査地方別打合会(山梨県)
- 12日 第23回茨城県統計大会(谷田部町「第一圏民センター」)
- 14～17日 茨城県統計グラフコンクール入選作品一般展示(水戸市川又書店駅前店)
- 17～20日 工業統計調査市町村事務打合会(水戸市、麻生町、大和村、桜川村)
- 18～19日 関東5県統計主管課長会議(千葉県)  
昭和56年度県民所得研究会(水戸市)
- 26～27日 法人企業投資動向調査ブロック会議(福島県)

## 本県作品初めて行政管理庁長官特別賞を受賞……………

### 《統計グラフ全国コンクール》

昭和56年度統計グラフ全国コンクールにおいて、岩井市立弓馬田小学校3年生(石沢淳, 小林正一, 張替聡子合作)の作品「使われていないぼくらのつくえ」が、本県としては初めて行政管理庁長官特別賞に選ばれました。同賞は、全国から応募された全作品(今年度54,256点)の中から最優秀作品1点に与えられるものです。

10月6日の受賞決定の日、中曾根長官から弓馬田小学校に祝福の電話があり、3児童をはじめ関係者は受賞の喜びに包まれていました。

同コンクールは、国民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するため、全国統計協会連合会の主催により、全国の小学生・中学生・高校生・大学生及び一般から募集しているもので、今年度は第29回です。

本県は、担任の先生方をはじめ関係者の熱心な努力によって、毎年質・量とも全国トップレベルにあり、昨年までも特選をはじめとして常に上位入選をはたしていました。今年度も応募作品5,306点の中から、地区審査、県審査をへて各部位上位5点計20点を全国コンクールに出品していたものです。

全国コンクール入選者は下記のとおりです。

なお、特別賞を受賞した弓馬田小学校の3児童は、10月28日山口県山口市で開催された全国統計大会において表彰されました。

#### 第29回統計グラフ全国コンクール入選者

第1部 ▷特選(行政管理庁長官特別賞)「使われていな



全国統計大会での表彰

統計グラフ全国コンクール  
行政管理庁長官特別賞



岩井市立弓馬田小学校3年

石沢 淳, 小林正一, 張替聡子

いぼくらのつくえ」(岩井市立弓馬田小学校3年 石沢淳, 小林正一, 張替聡子)▷佳作「おはなししようお父さん」(三和町立八俣小学校3年 仲田公則, 小林正美)

第2部 ▷9席「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」(結城市立結城小学校6年 飯島美知子, 荒川かおる, 川野淳子)▷佳作「忙しい救急車」(日立市立水木小学校5年 山田瑞穂), 「私たちの読書熱」(友部町立北川根小学校6年 津田信子), 「ぼくらテレビっ子」(笠間市立笠間小学校4年 永地純子, 前川陽子, 根本恵子, 浅野恵美子)

第3部 ▷4席「中学生の心の支え苦勞の多い母親」(結城市立結城中学校3年 戸坂由紀子, 稲葉君枝)▷5席「米, 考えさせられる米作の行方」(結城市立結城中学校3年 大山博之, 軒信治)▷8席「親と子相互理解が大切」(結城市立結城中学校2年 染谷淳子, 橋本幸子, 白井瑞江子)

第5部 ▷4席「わが家の味はどこへ」(友部町 青木勇一)▷佳作「みんなで無くそう! 交通死亡事故」(水戸市 会沢勉)

昭和56年度統計グラフ全国コンクール  
茨城県統計グラフコンクール審査結果

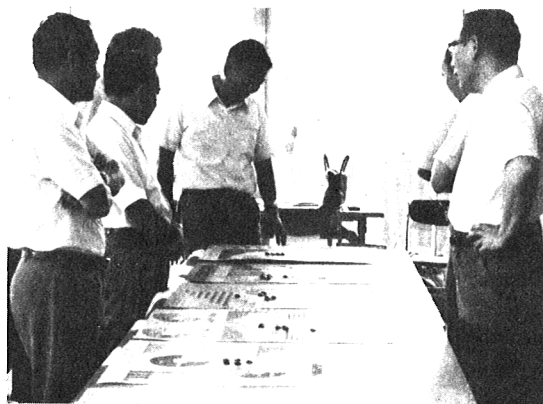
《茨城県統計グラフコンクール》

昭和56年度茨城県統計グラフコンクールは、全国に先立ち9月11～12日の2日間県審査を行い、今年度入選作品が決定しました。

昨年も本欄で紹介しましたが、県コンクールも全国と同じ要領により行われており、今年で第32回を数えます。

応募作品数は今年度さらに増加し、総数5,306点(第1部1,946点,第2部2,723点,第3部630点,第5部7点)を数えました。

主な入選者は次ページのとおり。表彰は11月12日筑波郡谷田部町「第一圏民センター」で開催される第23回茨城県統計大会で表彰されます。



県審査風景

選 評

審査員 茨城県統計教育研究部長 田村 恵  
全国統計教育研究協議会研究委員

(統計茨城の面目躍如) 昨年度の出品点数は、4,517点もあって関係者を驚かせたが、本年度はさらに記録を更新し5,306点という快記録を樹立した。5千の大台を軽く越すとは3年前には予想もし得なかったことで、まさに全国一の応募、「統計茨城」の立証といえよう。

(第1部で特選、弓馬田小に喚声) 本年の出品作品のうち、全国に出品した優秀作品では岩井市立弓馬田小学校3年の作品「使われていないぼくらのつくえ」が見事に特選、日本一に輝やいた。きわめて身近な用具である机の使用状況を観察調査し結果をグラフ化したもので、大人への警句といったらよいと思う。鋭い着眼とその出来ばえはよき指導者を得ている証左といえる。行政管理庁長官賞も得たことも画期的。

(作品の傾向) 第1部の作品は実験観察という制約上、作品の表題も交通機関、動植物、家庭生活にしばられているなかで、父母に対する要求事項が目についた。これは現代っ子の率直な態度がそうさせるのであろうか。

第2部の傾向というと、本年は身障者にスポットをあてた作品、テレビ、経済、まんが等の身近な問題を作品化していて、地についた客観的な姿勢がうかがえた。

第3部の傾向というと、「性・進路・悩み・消エネ・暴走族等」新聞、テレビを賑わしている社会問題が多く取り挙げられている作品が目についた。また、中学三年の作品が

多くなったのも嬉しい限り。

第4部は高校部門であるが、昨年は2点ながら応募があった。しかし本年は1点もなかったのはまことに残念で、その隘路はなにか、高校側の問題はなにか検討課題であろう。

第5部は一般部門で7点応募が見られたが、これは緒口がつかめたことであり、今後大いに期待されよう。

(優秀作品とその背景) 知事賞を得た大穂町立前野小学校2年の新井美津子さんの作品「おかあさんこんな朝ごはんがたべたい」は子どもらしい発想で、できればもしっかりしていた。朝食をとりたくもいろいろな事情があるのか、この作品から家庭生活の反省を求めているようである。

常澄村立稲荷一小1年の「およげた」は本当に子どもらしいよこびがグラフに表現されており、見る者をして共感を得るようである。

笠間市立笠間小4年の作品「ぼくらテレビっ子」はテレビに対する生活の反省が色濃く出ている。結城市立結城小6年の作品「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」は身障者年ということもあって、強い呼びかけがあり、形式的でない福祉を強調している。

結城中3年の作品「米、考えさせられる米作の行方」は迫力があって1億の日本人に見せてやりたい作品、米の問題をわかり易くグラフ化した力量に敬服したい。同じく知事賞の結城中2年「科学万博一つくば'85に期待する」の作品は、つくば万博に対する意識調査の結果を力づく表現しており、グラフの特質をよく表現し、見る者に新たな感銘を起させている。

優秀作品が多くしかもユニークな作品が多く、校内、市

# ●特集

町村，地区，中央という4段階を経てきただけに，すぐれた作品が多く，審査員に嬉しい悲鳴を挙げさせたのも事実であった。

## 第32回茨城県統計グラフコンクール入選者

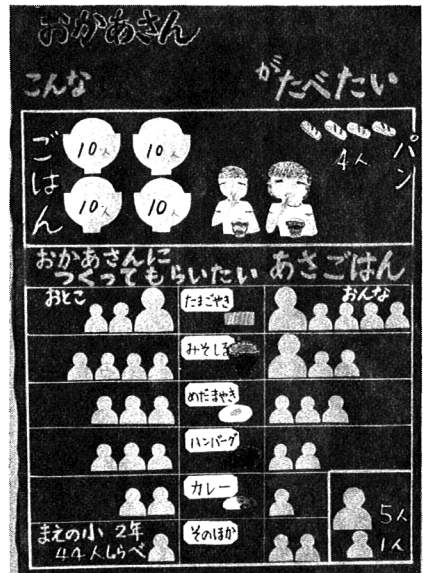
**特選知事賞**▷第1部「おかあさんこんなあさごはんがたべたい」(大穂町立前野小学校2年 新井美津子)▷第2部「ぼくらテレビっ子」(前掲)▷第3部「米，考えさせられる米作の行方」(前掲)，「科学万博——つくば'85に期待する」(結城市立結城中学校2年 宮田豊，中原健彦)▷第5部「わか家の味はどこへ」(前掲)

**県議会議長賞**▷第1部「およげた」(常澄村立稲荷第一小学校1年 遠藤典子，小林寛之，渡辺広子，田上裕子，高野智恵，高田香)▷第2部「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」(前掲)▷第3部「中学生の悩み」(結城市立結城南中学校1年 岩佐香代，田中早苗，中沢由美)▷第5部「霞ヶ浦は泣いている」(友部町 稲野辺敏明)

**県教育長賞**▷第1部「もっときょうだいが欲しい」(北茨城市立大津小学校1年 大井川知望，浦田浩孝)，「おはなししようお父さん」(前掲)，「使われていないぼくらのつくえ」(前掲)▷第2部「忙しい救急車」(前掲)，「私たちの読書熱」(前掲)，「全国小・中学生の帰宅後の過ごし方」(日立市立油繩子小学校6年 山縣啓子，山縣経子)▷第3部「親と子相互理解が大切」(結城市立結城中学校2年 染谷淳子，橋本幸子，臼井瑞江子)，「1981国際障害者年ともに生きる社会を！もっと理解と愛情を示そう」(神栖町立神栖第一中学校3年 村岡亜紀子)，「中学生の心の支え，苦勞の多い母親」(前掲)

**県統計協会総裁賞**▷第1部「おかあさんがとってもよろこぶとき」(北茨城市立明德小学校1年 鈴木千秋)，「ありさんも日かげがすきだよ」(日立市立水木小学校1年 渡辺学)，「いただきまーす」(茨城町立上野合小学校2年 村田直美，真家里美，中村幸枝，木村恵美)，「ならいものは女の子がおおい」(高萩市立東小学校2年 鈴木拓雄，宮本純司)，「三年生・ぼくのわたしのゆめ」(土浦市立真鍋小学校3年 山田豊)▷第2部「きゅうりは夜も育っている」(水戸市立梅ヶ丘小学校4年 柴宏枝)，「水泳こんなに上手に」(笠間市立笠間小学校4年 田中哲也，坪一彦，菅井武志)，「大子町をおとずれる観光客数どうなっているか」(大子町立大子小学校5年 小沢瑞司)，「あいさつのできない現代

## 《第1部》



大穂町立前野小学校2年

新井美津子

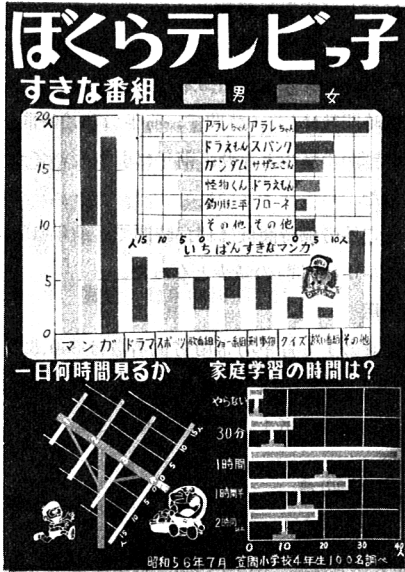
っ子」(茨城町立広浦小学校5年 海老沢浩平，海老沢義郎，金沢浩，海老沢浩治)，「養豚家大規模になる」(結城市立江川南小学校5年 大嶋京子，田中加代子，中村みどり)▷第3部「しかられるのはいやだけど……」(結城市立結城南中学校1年 広瀬真弓，矢中恵美子，渡辺祥子)，「君ならどう思う校内暴力」(日立市立中里中学校2年 大森晴美，和田真由美)，「全生徒部活動加入中学生，父母はこう考える」(下館市立下館中学校3年 高橋ひろみ，新山郁代)，「たまには静かに過したい」(日立市立中里中学校3年 草地佳代子，菊地美穂子)，「学習塾へ通っていますか」(石岡市立石岡中学校3年 土原三府)▷第5部「高まる家庭の省エネ」(勝田市 川野辺清)

**茨城新聞社長賞**▷第1部「もったいない電車の中のわすれもの」(結城市立結城小学校3年 鈴木夕子，湯本真己子，小田島希)▷第2部「中学生への期待」(日立市立水木小学校6年 八島明美，宮本奈都子)▷第3部「爽り多かった宿泊学習」(結城市立結城中学校2年 川田好美，中島真子，遠井泉)▷第5部「みんなで無くそう！交通死亡事故」(前掲)

(統計課・統計指導グループ)

知事賞受賞作品

《第2部》



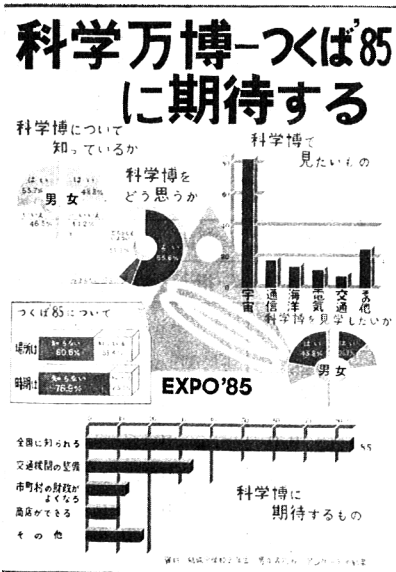
笠間市立笠間小学校4年  
永地 純子 根本 恵子  
前川 陽子 浅野 恵美子

《第3部》



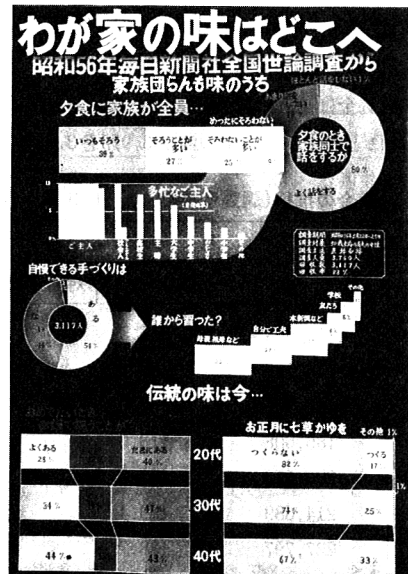
結城市立結城中学校3年  
大山 博之 軒 信治

《第3部》



結城市立結城中学校2年  
宮田 豊 中原 健彦

《第5部》



友部町 青木 勇